

平成 21 年度
地域再生を担う人づくり支援調査業務
報告書

平成 22 年 3 月

国土交通省都市・地域整備局地方振興課

平成 21 年度
地域再生を担う人づくり支援調査業務
報告書

目次

第 1 章 事業概略	1
I. 事業の目的	1
II. 調査の視点	1
III. 調査フロー	2
IV. モデル事業実施地域の位置（7 地域）	3
第 2 章. モデル地域の取り組みのねらい	4
I. 事業の背景	4
II. 事業推進に係る人材面での課題	6
第 3 章 人材育成の過程と手法	18
I. 人材育成の過程と手法の概要	18
II. モデル地域における人材育成・成長の対象者と手法	19
第 4 章 持続して地域再生を担う人づくりを行うにあたって	30
I. 事業実施により得られた成果と課題	30
II. 持続して地域再生を担う人づくりを行う際の留意点	36
第 5 章 事業実施地域による報告レポート	39
I. 岩手県花巻市	39
II. 大阪府柏原市	45
III. 兵庫県丹波市・篠山市	52
IV. 奈良県黒滝村	79
V. 島根県雲南市	87
VI. 岡山県笠岡市	99
VII. 沖縄県やんばる 3 村	106

参考資料

第1章 事業概略

I. 事業の目的

近年の我が国における地方の状況を見ると、人口減少、超高齢化の進行に歯止めがかからず、依然として厳しい状況にある。地域経営の観点からすると、平成の大合併等を契機として、地域住民が主体となった地域コミュニティ再生の必要性が求められている。

「地域のことは地域で決める」という地域主権の確立に向けた制度改革が行われており、コミュニティの構成者である住民自らが、マネジメント・コーディネート・ネットワーク等の能力を学び身につけ活用するという一連の人材育成・成長の過程を通じて、新たな価値を創出することが急務となっている。

以上のような背景の下、国土交通省では、地域コミュニティ再生を担い、地域づくりの核と成る人材育成を図ることを目的として「地域再生を担う人づくり支援調査事業」を実施している。

地域振興に取り組む地域のリーダー等を中心メンバーに据え、住民、企業、行政等からなる協議会の設置を促し、地域住民並びにNPOを始めとする地域団体等のマネジメント・スキルの向上、各モデル地域が抱える各種課題に対応した専門性の向上等を目的とし参加型研修を実施した。

今年度は、岩手県花巻市、大阪府柏原市、兵庫県丹波市・篠山市、奈良県黒滝村、島根県雲南市、岡山県笠岡市、沖縄県国頭村（含む、東村・大宜味村、以下「やんばる3村」という。）の7団体をモデル地域に設定し、支援調査を行った。

II. 調査の視点

モデル地域においては、地域づくり活動等の歴史を始め、現在直面している課題のほか、育成したいと考える人材に必要な能力・ノウハウ等はもちろん異なる。本調査では、モデル地域が人材育成を行うにあたり、実施した手法や得られた能力・ノウハウ等を意識しながら、検討を行い研修会等の支援を行った。

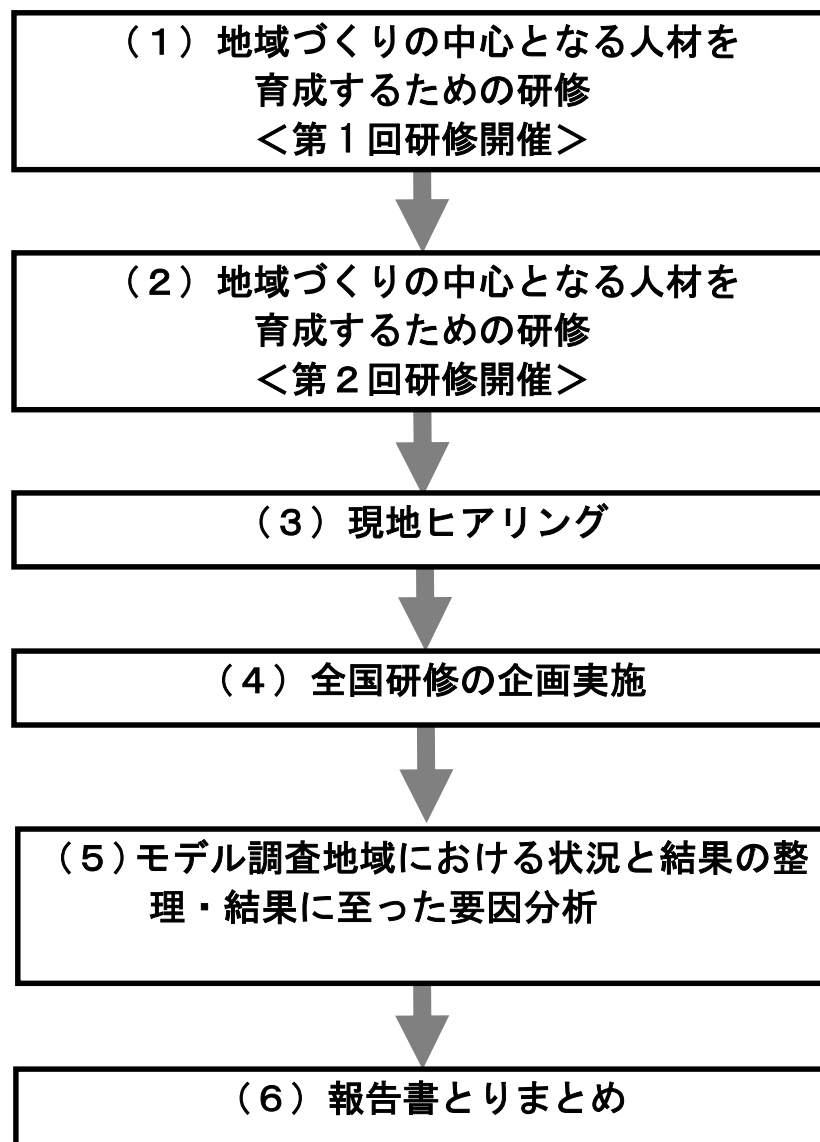
そのため、モデル地域の状況の結果と整理に当たっては、以下のような視点を持ちながら調査を進めた。

- 地域再生を担う人に必要な能力・ノウハウ等とはどのようなものか。
 - ▶ それぞれの課題や地域が掲げる目標に対し、どのような能力・ノウハウ等が必要なのかに着目する。

- 必要な能力・ノウハウ等とはどのような手法で身につく、人材が育成されるのか。
 - ▶ 地域再生を担う人材の育成・成長には、どのような手法や方法論等が有効であるのかという点について考察する。

Ⅲ. 調査フロー

本事業は以下のフローに基づき実施した。



IV. モデル事業実施地域の位置（7地域）

本事業は以下の7地区で実施した。

